

第Ⅱ章 平成12～13年度の動き

(1) 平成12年 4月25日～12年12月19日

「三瓶埋没林～発見とその後の展開～」連載

景観自然課佐藤課長補佐筆により、山陰中央新報に週1回連載（計30回）。

(2) 平成12年 5月15日

A-13から輪切り標本採取

埋没林発見のきっかけとなった埋もれスギ（昭和58年圃場整備工事中に発見され、上部が切り取られた樹幹。その時の写真が今回の発見のきっかけとなった。）の残存部を掘り出し、年輪年代測定などのため輪切り標本を採取した。

(3) 平成12年 5月18日

澄田島根県知事小豆原理没林現地視察

A-5掘り出しのための円形坑掘削がほぼ完了したことなどを受け、発掘状況を視察した。

(4) 平成12年 6月18日

第5回一般公開と現地説明会開催

見学者約800人。前々日報道発表し、第1面カラーで新聞報道されたことなどから、多数の方が見学に訪れた。当日は、切り出し直前のA-5及びA-13輪切り標本を中心に、保存処理中のA-9、A-10などを公開した。（写真2-1）

(5) 平成12年 6月20日

A-5切り出し

現地の仮設プールにて直ちにPEG保存処理を開始した。（写真2-2）

(6) 平成12年 8月21日

A-13輪切り標本の完成

5月に切り出したA-13輪切り標本について、乾燥処理が完了し、鳥根県庁で展示を開始した。（写真2-3）

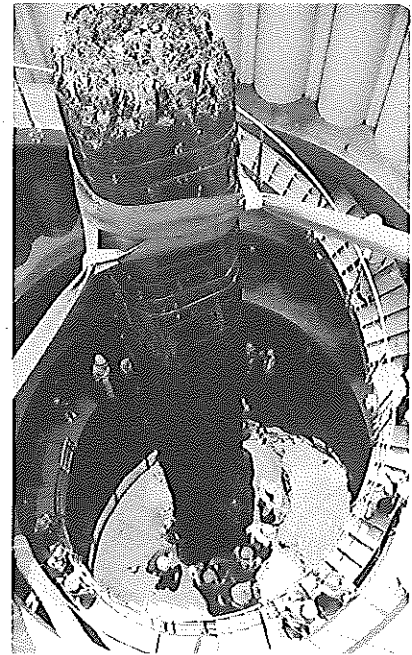


写真2-1 A-5見学会風景



写真2-2 A-5切り出し風景

(7)平成12年9月14日

三瓶埋没林H10～11年度調査結果報告会開催
(於：サンラポーむらくも)

「三瓶埋没林調査報告書（平成10～11年度概報）」の内容などを基に、8人の研究者から報告があった。(写真2-4)

第5回「三瓶埋没林調査保存検討委員会」開催
(於：サンラポーむらくも)

A-5の掘り出しと地層調査結果、巨木流木群の発見、B地区掘り出し調査結果などを報告し、現地保存及び整備方針について検討。

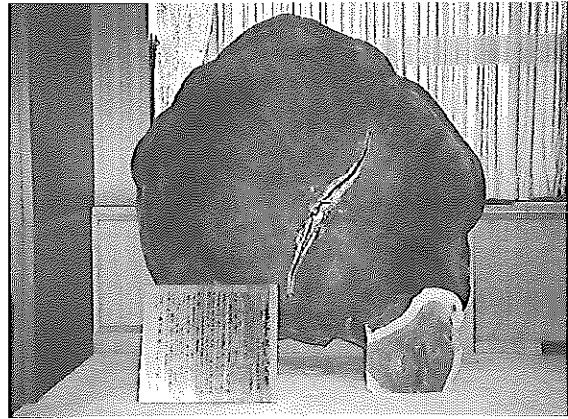


写真2-3 A-5輪切り標本

(8)平成12年9月19日

巨木流木群発見等についてプレス発表

知事定例記者会見において、巨木流木群の発見、B地区の埋没木確認状況、A-5の合体木推定などについて報道発表した。

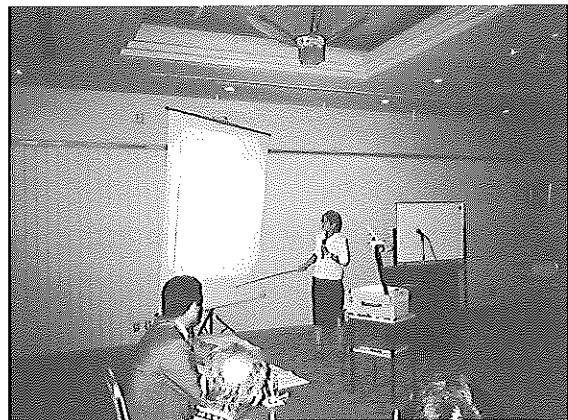


写真2-4 三瓶埋没林H10～11年度調査結果報告会

(9)平成12年9月23日

第6回一般公開と現地説明会開催

見学者約600人。A-13を中心とする巨木流木群、合体木であることが推定されるA-5の根株及びB地区の埋没木掘り出し状況などを公開した。前日未明の豪雨により半分水没したが、懸命の復旧により無事公開することができた。(写真2-5)

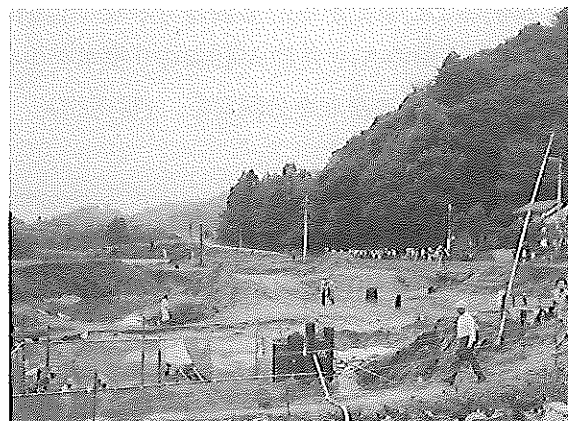


写真2-5 第6回一般公開・現地説明会

(10)平成12年9月（～3月）

各種出土物の分析調査。

これまで発掘された植物片等について、¹⁴C年代測定、樹種鑑定、被熱測定、花粉分析等を行った。

(11)平成12年11月（～3月）

古土壌の洗い出し調査。

主にA-5発掘坑から掘り出した古土壌から、昆虫遺骸、植物片などを洗い出し調査を行った。

(12) 平成13年 2月 5日

地元説明会（第4回）

地元小豆原自治会に対し、これまでの調査結果等を説明した。

(13) 平成13年 2月15日

第6回「三瓶埋没林調査保存検討委員会」開催（於：島根県職員会館）

これまでの調査結果などを報告し、現地保存及び整備方針について検討した。

(14) 平成13年 2月16日

小豆原埋没林現地整備について報道

前日知事が行った平成13年度予算発表資料に基づき、現地整備計画が新聞報道された。

(15) 平成13年 2月

小豆原埋没林現地レーダー探査

埋没林現地の埋没前の地形推定などのため、連続波レーダー探査を実施した。

(16) 平成13年 3月

男三瓶北麓青年の家付近ボーリング調査

溶岩の存在確認や山体崩壊確認などのため、鉛直30mのオールコアサンプリングを行った。

(17) 平成13年 4月

現地整備着手

直径30mの円形発掘坑掘削工事に着手した。

(18) 平成13年 6月

男三瓶北麓アワ畑ボーリング調査

同地の形成要因、山体崩壊確認などのため、鉛直50mのオールコアサンプリングを行った。

(19) 平成13年 7月17日

埋もれスギの三瓶自然館搬入

三瓶自然館新館で展示するため切り出し、発掘現地において保存処理していたA-5及びA-9について、建築工事中の新館へ200tの大型クレーンを使って吊り入れた。

(20) 平成14年 1月

合体木根株保存坑整備工事着手

A-5を切り出した後の根株を保存展示するための施設整備に着手。

(21) 平成14年 1月（～3月）

古土壌の洗い出し・分析調査

平成12年度に続き、A-9及びA-5発掘坑から掘り出された古土壌の洗い出し調査を行った。

(22) 平成14年2月

稚児橋付近地層推定調査

小豆原理没林の形成原因を推定するため、稚児橋付近の電気探査及びボーリング調査を実施した。



写真2-6 第7回三瓶埋没林調査保存検討委員会

(23) 平成14年2月21日

第7回「三瓶埋没林調査保存検討委員会」開催（於：大田市役所）

巨木流木群の発掘状況等を視察した後、これまでの調査結果などについて報告し、調査報告書（H12～13）、現地保存及び整備方針について検討した。（写真2-6）

(24) 平成13年3月1日

地元説明会（第5回）

地元小豆原自治会に対し、これまでの調査結果、今後の整備方針等を説明した。合わせて、大田市から周辺整備事業等について説明があった。

(25) 平成13年3月25日

三瓶自然館展示施設が完成

三瓶自然館に移設したA-5等の埋没木の展示及び保存処理施設が完成（写真2-7）

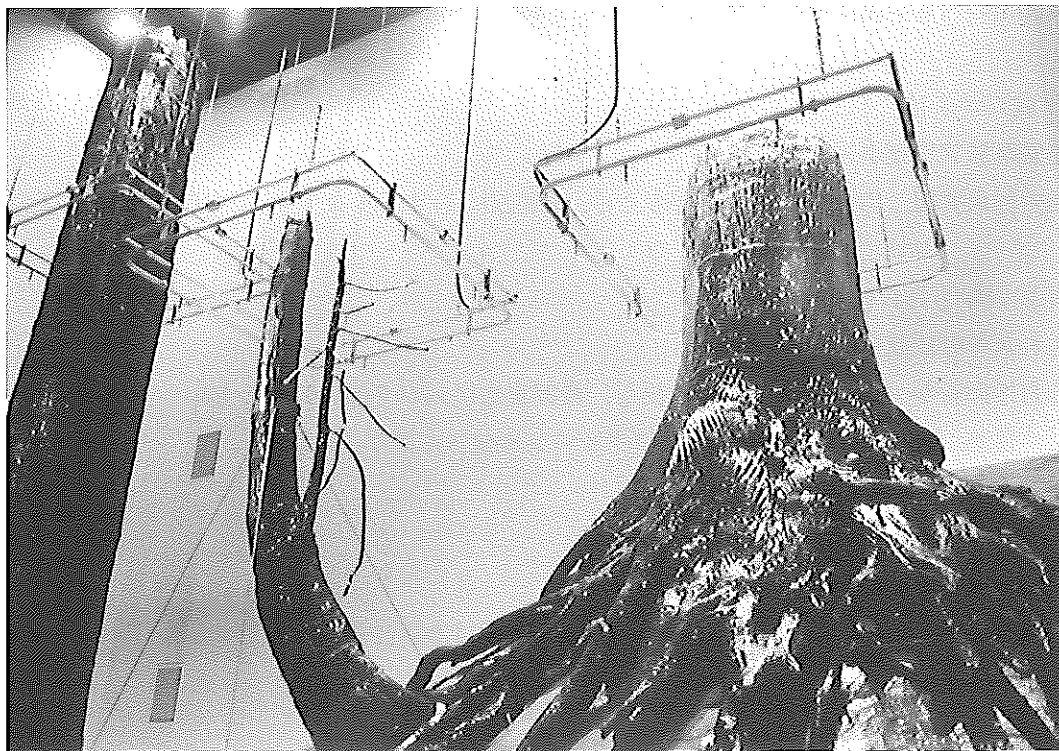


写真2-7 埋没林展示・保存処理コーナー